

ハイブリッドアプリ開発実習

理解度確認テスト①

以下の使用に沿った右図のようなアプリを作成せよ。

【最小限のテンプレート、プロジェクト名：学籍番号】

●仕様

- ① テキストフィールド、id=birth_year
誕生日を西暦で入力する。
- ② テキストフィールド、id=birth_month
誕生日(1~12)を入力する。
- ③ テキストフィールド、id=birth_day
誕生日(1~31)を入力する。
- ④ span タグ、id=now_year
今日の日付から、西暦年を取得して表示する。
- ⑤ span タグ、id=now_month
今日の日付から、月(1~12)を取得して表示する。
- ⑥ span タグ、id=now_day
今日の日付から、日(1~31)を取得して表示する。
- ⑦ ボタン
トップテキストを「日数計算」とし、クリックしたときに、誕生日から今日までの日数を計算する[⑪]関数 daysFromBirth() を呼び出す。
- ⑧ span タグ、id=days_from_birth
関数 daysFromBirth() の中で計算した誕生日から今日までの日数を表示する。
- ⑨ ボタン
直前の文字列「0~99の乱数」と併せて p タグで中央揃え。ボタンのトップテキストを「生成」とし、クリックしたときに、0~99の乱数を生成する[⑫]関数 random100() を呼び出す。
- ⑩ div タグ、id=random_100
関数 random100() の中で生成した 0~99 の乱数を表示する。ただし、表示位置は横方向で中央に、文字サイズは 800%程度の大きさに、文字色は目立つ色に設定する。
- ⑪ 関数 daysFromBirth()
変数 b_date に①, ②, ③に入力された誕生日の日付を、変数 t_date に今日の日付を取得する。次に、新たな変数 df_ms に日付の差(経過ミリ秒)「t_date.getTime()-b_date.getTime()」を代入し、変数 df_days に df_ms を 1 日のミリ秒数(具体的な数ではなく、計算式をそのまま活用すると良い)で割った値の小数点以下を切り捨てた値を代入する。さらに、今日生まれた人の df_days が 1 に、昨日生まれた人の df_days が 2 になるように、df_days を調整する。最後に、df_days の値を⑧の箇所に表示する。
- ⑫ 関数 random100()
0~99の整数乱数を作成し、その値を⑩の箇所に設定する。ここで、⑩の箇所(p タグ)の style はこの関数の中で指定しても良いし、別に設ける style タグの中で指定しても良い。

誕生日は、
① 年 ② 月 ③ 日
今日は、
④ 年 ⑤ 月 ⑥ 日
なので、生まれてから今日まで、
⑦ ⑧ 日です。

0~99の乱数 ⑨

⑩